

重点11 教職員研修の充実

1C 教職員の資質向上（教育センター研修）

ねらい

今日的な教育課題や教職員の多様なニーズに応える研修を実施するとともに、本市の教育課題の解決に向けた研修講座，職種や教職経験年数（ライフステージ）・職務内容に対応した研修講座を充実し，教職員の資質・能力の向上をめざしています。

現状と課題

○ 教職員研修の現状（講座数・日数，参加者数）

平成21年度は，教職経験年数に応じたライフステージ別研修を中心に据え，受講対象を絞った参加・体験型，実技・演習型の研修会を多く実施しました。また，ICT研修では，市内全小・中学校62校において出前講座形式の研修会を実施しました。

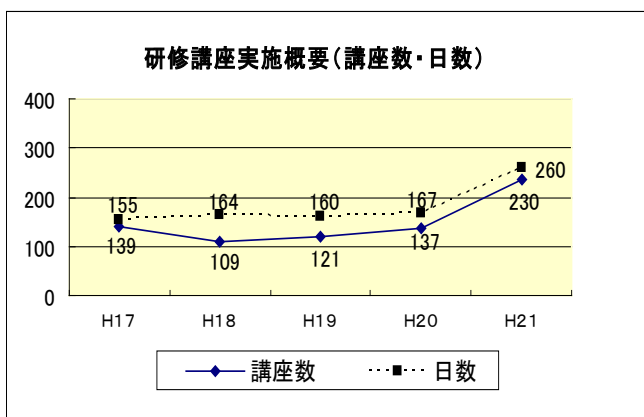


図-1 【講座数・日数】

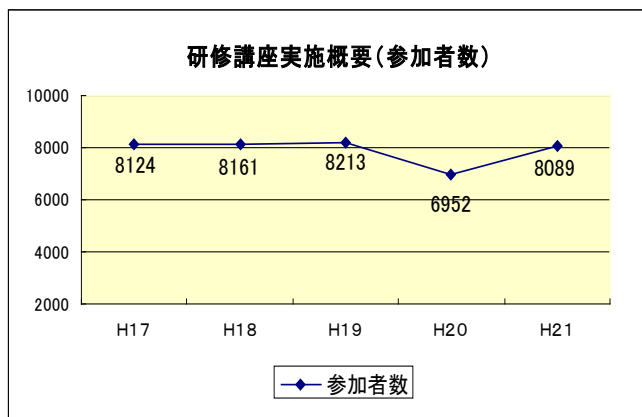


図-2 【参加者数】

○ 課題

「教師力向上サポートブック」を活用した自己研修を定着させるための取組が必要です。また，ICT研修では，機器操作から授業での活用へと内容の充実が求められます。

今後の方向性

○ 若手教員および学校ミドルリーダー教員の育成

ライフステージに応じた教師力の向上をはかるため，「教師力向上サポートブック」を活用して一人一人の教職員が個人研修を進めていけるように支援します。次年度は，その重点として，教職経験3年未満の若手教員に対する研修の充実をはかり，その教師力向上をめざすための「若手教員研修」を行います。また，ミドルリーダーの立場にある教員の研修を充実させ，学校ミドルリーダーとしての資質向上をはかる「ミドルリーダー教員研修」を行います。

○ 学校現場に「出かける研修（出前研修）」の充実

ICT活用のための出前研修を行い，ICTを活用したわかる授業づくりを進めるための支援をします。また，初任者研修や若手教員研修対象者の授業を参観し，校内研修の進め方や内容等について相談やアドバイスをを行います。

その他の主な取組状況

○「教師力向上サポートブック」を活用した研修の推進

個人研修の効果的な推進のため、「教師力向上サポートブック」を市内全教職員に配付し、その活用を進めました。

本書の活用により、教職員としての専門性や実践的指導力、幅広い社会性や柔軟な発想、対人関係のスキルなどを養うような研修を促すとともに、本市教職員の更なる資質向上を図りました。

個人研修年間計画を立てることによって自己の課題や研修の目的が明確になり、意図的・計画的な研修ができました。

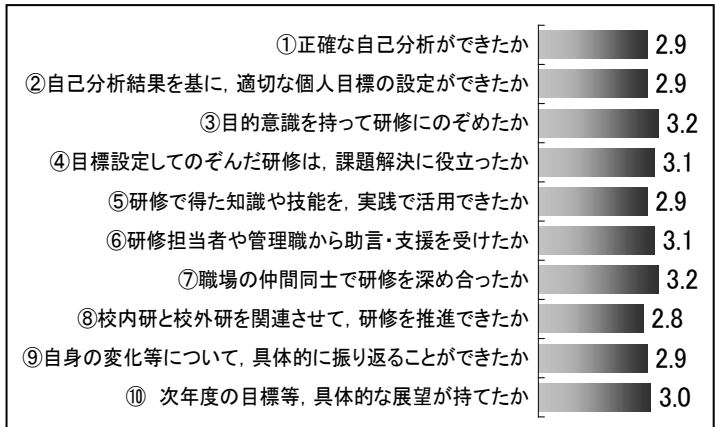


図1 教師力向上サポートブック総合評価（4段階評価）

○ライフステージ別教職員研修の充実

教職員研修講座では、個人年間研修計画に基づいた講座選択ができるように、教職経験年数（ライフステージ）に応じた講座の設定を増やしました。

その結果、若手教員同士の交流研修（図2）や、中堅教員のコーチング研修など、自己の課題に見合った研修講座の受講が充実しました。



図2 若手教員の実践交流研修

○ICT出前研修の実施

ICT研修では、出前講座形式の研修（図3）を中心として、各校のニーズに応じた研修会を実施しました。平成21年度前期は、市内全小学校を対象にICT機器活用研修を行いました。また、後期は、市内全中学校と一部の小学校を対象に、新規導入した電子黒板の活用研修を行いました。

いずれも個々の教職員のICT活用能力に応じた研修内容を工夫するとともに、少人数・ワークショップ型の研修形態をとり、研修内容の定着を図りました。新規導入機器操作を中心としたICT研修については、今後も継続する必要があります。また、ICT機器の授業での活用について、さらに研修を進めていきます。



図3 ICT活用出前研修